

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital

2021
6
vol.2

当院の心臓血管外科

「標準的な手術を標準的な医療として提供できる」を理念に日々の診療を行っています。命に直結する大動脈、冠動脈、弁膜症、末梢動脈疾患から命には関わらない下肢静脈瘤まで成人における心臓血管外科の病気を幅広くカバーできる手術を提供しています。

循環器内科・麻酔科などの診療科や、看護部・リハビリテーション部・臨床工学部などとも連携して、「ハートチーム」を形成し、患者さんに質の高い医療を提供できるように努力しています。

湖西地域における心臓血管外科治療を、地域において完結するため日夜診療に励んでいます。手術に際しては滋賀医科大学心臓血管外科より支援をうけ、手術に臨んでいます。

1. 冠動脈疾患 (狭心症と心筋梗塞) 冠動脈バイパス術

冠動脈バイパス術は、従来人工心肺装置を使用して心臓を止めた手術が行われてきました。しかし、近年、人工心肺装置を使わず心臓を動かしたままバイパスを行う心拍動下冠動脈バイパス術(OPCAB)という低侵襲の手術が6割を占めています。当院では全例にOPCABを行っています。

2. 弁膜症

僧帽弁閉鎖不全症や三尖弁閉鎖不全症に対しては、『弁形成術』を第一選択にしています。この手術はご自身の弁を残して修理するので、人工弁に比べて感染症に強く、血液をさらさらにする薬(ワーファリン)の内服も回避でき、患者さんには利点が多い手術です。



心臓血管外科部 副部長

しらいし しょういちろう

白石 昭一郎

プロフィール

卒 年：昭和 60 年
認定専門資格：心臓血管外科専門医・修練指導者
日本胸部外科学会認定医
日本外科学会認定医・専門医
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医



3.大動脈疾患(大動脈瘤、解離性大動脈瘤(大動脈解離))

大動脈瘤の手術方法には、「人工血管置換術」と「ステントグラフト内挿術」があります。

「人工血管置換術」は全身麻酔をかけ胸部(または腹部)を大きく開けて、瘤を切除し人工血管に置き換える手術で、侵襲が大きいです。「ステントグラフト内挿術」は、足の付け根を管を刺す(穿刺)だけで、カテーテル法を用いステントグラフトを瘤内に挿入する低侵襲手術です。手術に耐え難い患者さんはステント治療が非常に有用です。当院は、ステントグラフト指導医が常勤しており、瘤の部位・形態、患者さんの状態に応じて、最適な手術方法を選択いたします。

4.下肢静脈瘤:高周波血管内焼灼術、血管内塞栓術

立ち仕事や妊娠・出産、肥満などの原因により、静脈の弁が壊れて、血液が逆流して、静脈が瘤のように太くなります。これが下肢静脈瘤です。湿疹、皮膚炎、色素沈着、潰瘍などの症状がある場合、以前は、静脈瘤除去術や結紮術などの手術を行っていましたが、近年、局所麻酔で施行可能で、創も小さく(1-2mm)、必ずしも入院を必要としない血管内治療が行われてきました。

当院では安全面を考慮して1泊2日の入院で血管内高周波焼灼術や血管内塞栓(グルー)術を行っております。



こんどう やすお
心臓血管外科 医師 **近藤 康生** (写真右)

プロフィール

卒 年：平成 23 年
 専門資格：心臓血管外科専門医
 腹部ステントグラフト実施医
 日本外科学会外科専門医
 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
 専門分野：虚血性心疾患、弁膜症
 大動脈疾患、末梢血管疾患

※写真撮影時のみマスクを外しています。

外来担当医 (心臓血管外科)

	月	火	水	木	金
午前		近藤 康生			白石 昭一郎
午後		近藤 康生			白石 昭一郎

《お問い合わせ》

+ 日本赤十字社 大津赤十字病院 地域医療連携課

〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1番35号

TEL.077-522-8535(直通) FAX.077-522-4385(直通)

予約受付 月曜日から金曜日(平日) 午前8時30分から午後8時00分まで
土曜日 午前9時00分から午後1時00分まで

QRコードからホームページが
ご覧いただけます

<https://www.otsu.jrc.or.jp/>

